

# チャレンジ

「天国の母が笑顔になるような、おいしい菓子を作りたい」。創成館高3年の洲崎湊さん(17)は、バディシエを目指し、今日もキッチンに立ち続ける。胸の中には、昨年7月に54歳で亡くなった、母・照子さんがいる。いつも夢を応援し、支えて

菓子づくりでチャレンジカップ最高賞

すざき みお  
洲崎 湊さん(17)

# 天国の母へレシピ。



くれるかけがえのない存在だった。012(日本チャレンジ教育協会主催)に参加は、10分間のプレゼンテーションを行い、8組の中から見事、最高賞のグランプリを射止めた。

大会での挑戦のテーマは、「オリジナルレシピを30種類作成すること」。昨年10月から、学業と家事を両立させながら、夜中に菓子作り続けた。誰が見ても上手に作れるように分量を詳細に記載する手作りのレシピノートを作成。見せ方を工

夫し、写真にもこだわった。出来上がったレシピは50種類以上になった。中学2年のときに、母とマドレーヌを作った。売上金の1万円は、上手に焼けておいしい」と言ってくれた笑顔がうれしくて、菓子づくりに熱中していった。母は乳がんだった。入院中、だんだんとやせていった。元気な菓子を持って行った。いつも喜んでくれたが、退院の願いがかなうことはなかった。母が最後に口にした菓子はやはりマドレーヌだった。菓子を作るたびに母を思い出し嫌になることもあった。再度、前向きに

(藤田沙智)



# ジュニア

ながさき

